

避難訓練を終えて

B1病棟 看護師長 小林 和栄

6月13日に防火訓練が行われました。

今回は夜間想定でB1病棟から出火、初期消火に失敗し、体育館に避難するという流れでした。夜間想定ということで少ない職員で25名の患者さんを避難誘導しました。職員一人一人が声を掛け合い、動いている姿が見られました。参加者の様子は本番さながらの緊張感が見受けられました。



防火訓練後、職員は実際に消火器や散水を体験させてもらいました。実際に肌に触れることは大切であると感じました。今回の訓練を今後に活かしていきたいと思います。



また、防災訓練の振り返りでは、消防署の方より、避難誘導が済んだ部屋の確認は部屋の前に枕を置くと一目でわかり易いとのアドバイスを頂きました。再度確認する場合、部屋の窓にマジックでし点チェックだと、実際に部屋の前まで行かないと分かりませんが、枕を置けば離れていても見えるというメリットがあるということです。皆さんも検討されてはいかがでしょうか。